

YMFG NEWS RELEASE

2022年4月5日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 YMFG ZONEプランニング

経済産業省「STEAMライブラリー」への「ローカルSDGs」教育コンテンツ提供と コンテンツを活用したESDの推進について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 椋梨 敬介）の子会社であるYMFG ZONEプランニング（社長 藏重 嘉伸）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、経済産業省「STEAMライブラリー」へ「地域循環共生圏（ローカルSDGs）」の構築にチャレンジする地域の人材育成を目的とした教育コンテンツを開発・提供しました。

本コンテンツの開発は、経済産業省令和3年度「未来の教室」事業の一環として実施しており、金融機関としては唯一、YMFG ZONEプランニングがコンテンツ制作事業者に採択されております。今後は制作したコンテンツを活用し、持続可能な社会の創り手を育む教育であるESD（Education for Sustainable Development）を推進してまいりますので、コンテンツ概要等について下記のとおりお知らせいたします。

記

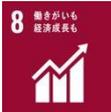
1. 取組背景

経済産業省では、求められる能力観の変化や新しい教育を可能にする技術の登場を背景に、子供たちが伸びやかに「未来社会の創り手」に育つきっかけを提供するため、学校でも個人探究でも使えるデジタル教材「STEAMライブラリー」を開発し、無償一般公開しています。YMFG ZONEプランニングによるSTEAMライブラリーへのコンテンツ提供は2年連続となります。

2. コンテンツについて

地域でのSDGs実践を目指す「地域循環共生圏」の構築手法を学ぶとともに、トレードオフを乗り越え、環境、社会、経済の様々な課題を同時解決するためにはどうすれば良いのかを考えるコンテンツです。

（詳細は別紙参照）

タイトル	地域循環共生圏（ローカルSDGs）の構築方法を学ぶ ～なぜ銀行員が農業をするのか？～
URL	https://www.steam-library.go.jp/
取り扱う SDGsの項目	 4 質の高い教育を みんなに  7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  8 働きがいも 経済成長も  9 産業と技術革新の 基盤をつくらう  11 住み続けられる まちづくりを  13 気候変動に 具体的な対策を  14 海の豊かさを 守ろう  15 陸の豊かさも 守ろう  17 パートナシップで 目標を達成しよう

3. コンテンツの活用について

YMFG ZONEプランニングでは、令和2年度の経済産業省「未来の教室」実証事業において、地域課題解決に経済の視点を取り入れたカリキュラムを組成し、広島県立廿日市高等学校の「総合的な探究の時間」の授業を活用して探究・プロジェクト型学習に参画しました。同校の取り組みについては「第7回 広島県ユネスコ ESD×SDGs大賞 広島大学教育学部長賞」を受賞しております。

この度開発したコンテンツについては、地域循環共生圏の構築をテーマとしており、ESDに資する取組として、自治体や高等学校等の教育機関との連携を図り、実際の教育現場における活用を推進する予定です。



4. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」、「③地域コミュニティとの連携強化」、「⑤省資源・省/創エネルギーへの対応」、「⑥大気汚染・気候変動への対応」、「⑦環境に配慮した商品・サービス開発」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応
	②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート
	③地域コミュニティとの連携強化
	④商品・サービスの安全性と品質向上

 環境保全への 取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応
	⑥大気汚染・気候変動への対応
	⑦環境に配慮した商品・サービス開発

 役職員全員の 働きがいへの 取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出
	⑨安心・安全な労働環境作り
	⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&インクルージョン)

 強固な 経営基盤づくり への取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化
	⑫経営の透明性向上と説明責任

以上

【本件に関するお問合せ先】
YMFG ZONEプランニング 河野・舟木
TEL：083-223-4202

地域循環共生圏（ローカルSDGs）の構築方法を学ぶ ～なぜ銀行員が農業をするのか？～

本コンテンツでは、地域でのSDGs実践（ローカルSDGs）を目指す「地域循環共生圏」の構築手法を学ぶとともに、トレードオフを乗り越え、環境、社会、経済の様々な課題を同時解決するためにはどうすれば良いかを考えます。

概要

取扱うSDGsの項目



取扱う教科 / 単元

- 総合的な探究の時間
- 農業-地域資源活用
- 公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち
- 地理総合-持続可能な地域づくりと私たち
- 現代の国語-話すこと・聞くこと
- 論理国語-書くこと

協力（50音順）

環境省 中国環境パートナーシップオフィス、環境省 中国四国地方環境事務所、神石高原町、ツネイグリーンエナジー株式会社、株式会社バンカーズファーム、一般社団法人未来技術推進協会

主たる対象

- 高校

コンテンツ詳細



都市と地方は自然、物質、人材などの資源を互いに依存しています。お互いが持続するためには、都市と地方が有する地域資源を活用しながら、環境、社会、経済などの様々な地域課題を同時解決していく、すなわち**地域でのSDGsの実践**が必要です。地域循環共生圏の構築方法を学び、トレードオフを乗り越えて課題から新たな価値を生み出すためにはどうすればいいかを考えましょう！

「地域循環共生圏」とは？

各地域が美しい自然や景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。

イントロダクション



銀行員が農業をするワケ

その力点をみる
地域循環共生圏とは？

銀行員が農業をする理由を考えよう！

地域循環共生圏（ローカルSDGs）とは



地域循環共生圏 = ローカルSDGs



つながっている世界

地域循環共生圏やSDGsの考え方を学ぼう！

地域循環共生圏の構築手法を学ぶ



- 話を聞きに行く
- 学びたい事への地域のコンセプトを書く
- 事業のストーリーを語る
- みんなで目指す



包括連携協定の目的

包括連携協定の主な内容

地域循環共生圏構築に必要な地域のコンセプトシート等を、実際の取組を見ながら作ろう！

地域循環共生圏（ローカルSDGs）の構築方法を学ぶ～なぜ銀行員が農業をするのか？～

制作：株式会社 YMFGZONEプランニング

パートナー：環境省 中国環境パートナーシップオフィス、環境省 中国四国地方環境事務所、神石高原町、ツネイシグリーンエナジー株式会社、株式会社バンカースファーム、一般社団法人未来技術推進協会



本コンテンツでは、地域でのSDGs実践（ローカルSDGs）を目指す「地域循環共生圏」の構築手法を学ぶとともに、トレードオフを乗り越え、環境、社会、経済の様々な課題を同時解決するためにはどうすれば良いかを考えます。

コマの概要

収録コンテンツ

関連する科目・単元

コマ①	<p>「銀行員が農業を！？」 銀行員がなぜ農業に取り組むのでしょうか？銀行×農業という普段結び付かない切り口から、その背景にある地域循環共生圏の考え方を学びます。</p>	<p>動画（2） 指導案（1） ワークシート（2）／参考資料（1）</p>	<p>農業-地域資源活用 公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p>
コマ②	<p>「地域循環共生圏（ローカルSDGs）とは？」 地域循環共生圏の考え方やSDGsの考え方、トレードオフの関係などについて学びます。また、身近なトレードオフを考えることで、SDGsを自分ごととして考えます。</p>	<p>動画（2） 指導案（1） ワークシート（2）／参考資料（3）</p>	<p>公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち 地理総合-持続可能な地域づくりと私たち</p>
コマ③	<p>「地域循環共生圏構築に向けたアプローチとプロセス」 地域循環共生圏構築のために必要なアプローチとプロセスについて具体的に学びます。環境、経済、社会の3側面から地域課題を同時解決することの重要性を学びます。</p>	<p>動画（1） 指導案（1） ワークシート（1）／参考資料（3）</p>	<p>公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち 現代の国語-話すこと・聞くこと</p>
コマ④	<p>「地域循環共生圏構築に向けて ①話を聞きに行く」 地域循環共生圏の構築に必要な、「地域プラットフォーム」づくりについて学びます。また、一緒に取り組む仲間集めのために必要な合意形成のポイントを学びます。</p>	<p>動画（1） 指導案（1） ワークシート（1）／参考資料（1）</p>	<p>公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち 現代の国語-話すこと・聞くこと</p>
コマ⑤	<p>「地域循環共生圏構築に向けて ②地域のコンセプトを描く」 地域のありたい未来とそこに至る道筋を考えることができるツールである「地域のコンセプトシート（通称：地域版マングラ）」の作成方法を学びます。</p>	<p>動画（3） 指導案（1） ワークシート（3）／参考資料（4）</p>	<p>公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち 現代の国語-話すこと・聞くこと 論理国語-書くこと</p>
コマ⑥	<p>「地域循環共生圏構築に向けて ③事業のストーリーを語る」 発想したアイデアの実現可能性を高めるため、事業の骨子を整理します。事業のねらいや内容等を具体化する「事業のタネシート」の作成方法を学びます。</p>	<p>動画（1） 指導案（1） ワークシート（2）／参考資料（2）</p>	<p>公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち 現代の国語-話すこと・聞くこと 論理国語-書くこと</p>
コマ⑦	<p>「地域循環共生圏構築に向けて ④みんなで目指す目標を立てる」 設定する目標がやりたい未来に適切につながっていない場合は、目標を達成してもしりたい未来に辿り着かない可能性があるため、目標シートを活用することを学びます。</p>	<p>動画（1） 指導案（1） ワークシート（2）／参考資料（2）</p>	<p>公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち 現代の国語-話すこと・聞くこと 論理国語-書くこと</p>
コマ⑧	<p>「地域循環共生圏構築にチャレンジしよう！」 地域循環共生圏の構築は、誰もが主体となり、取り組むことができます。地域循環共生圏構築に取り組む人たちからのアドバイスを聞き、実際にチャレンジする意欲を高めます。</p>	<p>動画（1） 指導案（1） ワークシート（1）</p>	<p>総合的な探究の時間 公民-持続可能な社会づくりの主体となる私たち 地理総合-持続可能な地域づくりと私たち</p>